

おおむた 輝人

女優
林田 麻里 さん



「いのちスケッチ」に 関わったことは、奇 跡のような事でした

役になりきって自由に表現できる居の世界に、子どもの頃から憧っていました。本格的に取り組んだのは高校生の時に体験した市民劇団で「私の進む道はここだ」と確信しました。大学で本格的に芝居の世界を学び、上京を決意。父が亡くなり大変だった時にもかかわらず、背中を押してくれた母には今でも感謝しています。

上京した当初は、憧れた業界に身を置くことに満足していましたが、簡単にこの世界では生き残れないと気付き、いただける仕事はなんでも引き受けました。また、人となりがしっかりしていないと本物の演技はできないと感じ、私生活もわろそかにしないように心掛けました。その甲斐あってか、2014年に紀伊國屋演劇賞の個人賞を受賞することができ、それまで支えていた友達の方に恩返しができてうれしかったです。

いのちスケッチは、「こんな奇跡に近い話は二度とない。どんな役でもいいから映画に関わりたい」と出演を切望していたので、決まった時の喜びは言葉にならなかったです。動物園の素晴らしい取り組みを汚さないように、時間があればみんなで勉強し、方言指導では、場面の背景を考えながら言葉を選び大変でしたが、皆さんのが大牟田弁に慣れていくのを見るのが楽しかったです。市民の皆さんのがたくさん支援に、キャストやスタッフの皆さんのが「大牟田の人ってあつたかいね」と言ってくれたのもうれしかったですね。とても充実した現場だったので、クラックアップした時は感極まつて号泣してしまいました。

見慣れた大牟田の光景の中で繰り広げられる、いのちの大切さをさりげなく伝えてくれる素晴らしい作品だと思います。多くのみなさんに、ぜひ劇場で見ていただきたいです。



映画では、主人公を優しく見守る先輩飼育員役を好演しています

▼ いよいよ映画「いのちスケッチ」が公開されます。地元が映画の舞台になるなんて嬉しいですね。小さい頃から何度も行つた動物園がどのように描かれているのか気になります。公開されたら、早速見

にいきたいと願っています。▼ 「人と動物の『いのち』に向き合い成長していく、淡い恋も交えた感動の物語」とのことなので、これを観て、普段忘れかけている優しい心を取り戻せたらいいな。(あ)

編集後記

押し花文化 のふるさと・おおむた

作品名 Love

作 者 杉野 宣雄（大牟田大使）



東京2020オリンピック・パラリンピック公認プログラム、『世界押し花アート展in Tokyo』が12月に東京で開催されます。

スポーツ・文化を通した平和の祭典、東京オリンピック・パラリンピックをみんなで盛り上げましょう。

花材 紅葉